

# 令和3年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 原 宗之

## ○ 令和3年度重要事業

事業名	ICT教育の充実
目標	新型コロナウイルス感染症等による学校の臨時休業時においても、子どもたちの学びを保障できる環境の確保を引き続き図るとともに、児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育や学習目標をもとに、児童生徒の論理的に考える力の育成や教員のICT教育の指導力向上に努めます。
年度末達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により学校に登校できない児童生徒や、学校が臨時休業となった場合に、学習専用端末を活用し、朝の健康観察、ホームルーム、オンライン授業等を実施し子どもたちの学びを止めない取組を行いました。 また、教員に対しては、プログラミング教育等の研修や公開授業等通じて、指導力の向上を図りました。
自己評価	引き続き、学習専用端末を活用し、児童生徒の情報活用能力、論理的思考力の育成を図るとともに教員の指導力向上に努めます。

事業名	心身ともに健やかな子どもの育成
目標	本市では、家族とのふれあいや団らんが子どもの健全な成長に繋がるものとして毎月25日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としてしています。市内企業や各種団体と連携し「あったか家族」の普及啓発に努めます。 また、不安を抱えている児童生徒や家庭への支援を推進するため、家庭教育専門支援員を新たに配置し、教育相談体制の充実に努めます。
年度末達成状況	「あったか家族」については、市内企業や団体等と連携協力しながら様々な普及啓発活動に取り組みました。 また、家庭教育専門支援員を2名配置し、学校やスクールカウンセラー、関係機関等と連携しながら不安を抱えている児童生徒の支援を行いました。
自己評価	市内企業や団体の協力を得ながら、家族との団らんを促進する取組を実施することで「あったか家族」の普及啓発につなげており、今後も協力企業等と連携を図ります。 また、引き続き、家庭教育専門支援員を配置し、不安を抱えている児童生徒の家庭支援の充実に努めます。

事業名	文化財の活用とフットボールセンターの整備
目 標	<p>放生津八幡宮祭曳山・築山行事が国重要無形民俗文化財に指定されたことから、保存会が行う記念行事への支援を行います。</p> <p>県西部唯一の人工芝グラウンド2面を有するフットボールセンター整備に着手します。併せてA Iカメラの整備等の特色を生かした利用促進についても検討を進めます。</p>
年度末 達成状況	<p>放生津八幡宮祭の曳山・築山行事国指定を記念する石碑設置に対する支援を行いました。また、文化財的価値の普及啓発のため、パンフレットの刊行や放生津八幡宮境内に解説板を設置しました。</p> <p>フットボールセンターについては、整備工事を終わりました。また、施設の管理運営委託事業者を公募型プロポーザルにて選定し、施設の特色を生かした利用促進策について検討を進めました。</p>
自己評価	<p>国指定となった放生津八幡宮祭の曳山・築山行事のPR・知名度向上にもつながり、文化財保護意識の高揚に寄与する支援等に今後も取り組みます。</p> <p>フットボールセンターについては、4月29日に落成式を行います。施設開業後、施設の管理運営委託事業者等と連携しながら、スポーツを通じた交流人口を創出する拠点として、多くの方に利用していただける施設となるよう取り組みます。</p>